

別紙様式第10号

令和3年 4月9日

東北農政局長 殿

岩手県遠野市上郷町細越8-53
遠野ブランド海外輸出協議会
会長 柄澤 靖彦

令和2年度 山村活性化支援交付金事業実施評価の報告について

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領(平成30年3月28日付け29農振第2261号農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、関係書類を添えて報告します。

令和2年度 山村活性化支援交付金事業実施評価書

1. 事業名 山村活性化対策事業

2. 事業実施主体名 遠野ブランド海外輸出協議会

3. 事業概要

・事業目的 遠野中山間地における農産物を生産、製造し、国内、海外に流通させるために、プロモーション活動をする。

・事業費・交付額(単位:円) 事業費 11,181,983円 交付額 10,000,000円

・事業実施期間 令和2年 6月17日 ~ 令和3年 3月22日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

遠野山村の資源を有効活用しようとする試みは素晴らしい。海外輸出はコロナの影響で減少したが、次に狙いを定めて付加価値づくりに前進してほしい。

(2) 取組状況

・1次産品の生産から脱し付加価値を付けることが出来なかったのが遠野の残念なところであった。今回の取り組みとして評価できるのは、原料生産から加工へ移行し、付加価値をつけた点である。事業は二年目になり、益々高付加価値商品が生まれてきている。

・コロナの影響もあり、食の流れは大きく変化している。ますます商品の質が問われると思われるが、それを早くから意識し、活動してきた。

・コロナの影響を受けないために、極力三密を避け、日本国内の視察、商談に集中した。

(3) 事業実績

①海外輸出総額は目標の1300万円に対し800万円の輸出 達成率62%、コロナ感染にもかかわらず輸出できたのは良かった ②商品開発数は目標に対して100%達成 ③農産物生産量も目標を100%達成した ④農業従事者数も1人を雇用し、この4月からもう1人採用予定。

(4) 実施体制

・協議会を組織し外に向かって目を見開いた会員が自ら起業したのは大きな成果だ。

(5) その他事項

・令和3年4月より産直施設「遠野風の丘」がリニューアルオープンし、その売り場に遠野ブランド海外輸出協議会の発表の場が設置されるので、遠野市に大きな刺激を与えると期待している。

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標	目標値	実績値	達成率
・海外輸出総額	1300万円	800万円	62%
・商品開発数	8(18)	8(18)	100%
・農産物生産量(ホウレンソウ)	2200kg	2200kg	100%
・農産物生産量(香辛野菜)	300kg	300kg	100%
・農業従事者数	1人	1人	100%

・所見

遠野山村の活性において必要なことは、情報の収集と、その知識を遠野市内部において具体化していくことである。初年度に引き続き高付加価値商品を作り出したこと、特にコロナ感染という世界規模の状況で海外商談や渡航が許させない中、国内に重点を置いて市場調査に力を注いだことには高く評価できる。

令和2年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和2年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価	コメント
			R1	R2	R3			
岩手県	遠野市	遠野ブランド海外輸出協議会	●	●	□	A	コロナ感染状況下で国内における先進地事例の研究とコロナ終息後を見据えた商品開発に取り組んだことは意義があった。	

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である 遠野商工会会長 佐々木弘志氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

遠野商工会会長 佐々木 弘志

【意見聴取の概要】

令和2年度 農山漁村振興交付金事業の実施状況について、協議会事務局より各項目ごとに評価委員に説明を行った。遠野市山村活性化にとりこの事業は大変意義があるが、コロナ感染という世界規模の状況で海外商談・渡航が許されない中、国内に重点を置いて市場調査とそれを踏まえた上での新商品開発に力を注いだことに評価をいただいた。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	遠野ブランド海外輸出協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和2年度)
2. 取組振興山村名	岩手県遠野市 上郷町、宮守町	令和元年度	令和3年度	令和2年 6月17日～令和3年 3月22日
3. 事業費(うち国費)				
4. 第三者氏名	遠野商工会会長 佐々木弘志			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	(C) 重点指導対象
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	(C) 重点指導対象
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	(C) 重点指導対象
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。				
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	(C)
④ その他				
特になし				

(評価理由及び助言等のコメント)
 遠野山村の資源を有効活用しようとする試みは素晴らしい。
 海外輸出はコロナの影響で減少したが、次に狙いを定めて付加価値づくりに前進してほしい。

(評価理由及び助言等のコメント)
 1次産品の生産から脱し付加価値を付けることが出来ないできたのが遠野の残念なところであった。
 商品の質がこれから問われる。
 遠野物語の里を意識して取り組んでほしい。

(評価理由及び助言等のコメント)
 ①海外輸出総額は目標の1300万円に対し800万円の輸出 達成率62%、コロナ感染にもかかわらず輸出できたのは良かった ②商品開発数は目標に対して100%達成 ③農産物生産量も目標を100%達成した ④農業従事者数も1人を雇
 用し、この4月からもう1人採用と聞く。
 いろいろな変化に対応する力強さを個人個人もってほしい。

(評価理由及び助言等のコメント)
 協議会を組織し外に向かって目を見開いた会員が自ら起業したのは大きな成果だ。
 令和3年4月より産直施設「遠野風の丘」がリニューアルオープンし、その売り場に遠野ブランド海外輸出協議会の発表の
 場が設置されるので、遠野市に大きな刺激を与えると期待している。

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。


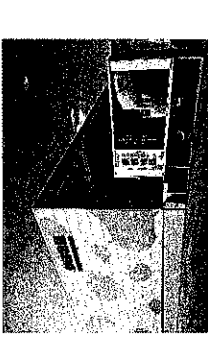

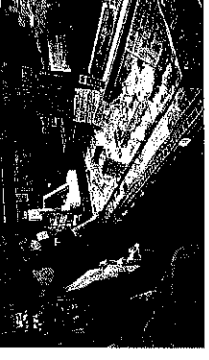
学識経験者等第三者について

遠野ブランド海外輸出協議会


<p>1. 第三者の氏名、住所 ① 氏名： 佐々木弘志 ② 住所： 岩手県遠野市新穀町6番1号 tel: 0198-62-2456</p>	<p>3. 第三者の経歴</p> <p>昭和45年3月 岩手大学工学部卒業 昭和52年4月 (有)トーノ精密設立 現 (株)トーノ精密 代表取締役就任 平成9年6月～11年3月 遠野市情報化推進協議会専門部会委員 平成16年10月～17年3年 遠野地域ビジネス支援委員会委員 平成18年4月～ 遠野市総合計画審議会 理事 平成19年6月～ 岩手県商工会連合会 会長 遠野商工会 会長</p>
<p>2. 第三者に選定した理由 佐々木弘志氏は遠野商工会長 及び 岩手商工会連合会理事の役を担っておられる。幅広い見地から意見を伺えらると思いい選定した。地場企業や市内の農業生産の動向に詳しく、産直のあり方、農業の六次産業化に積極的に発言している。</p>	<p>現在に至る</p>

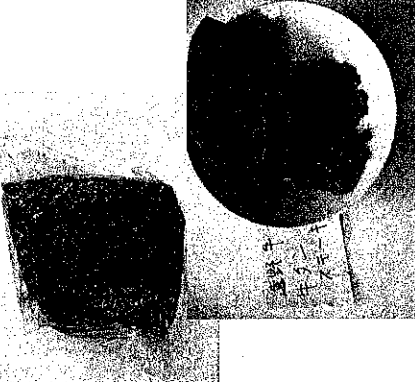
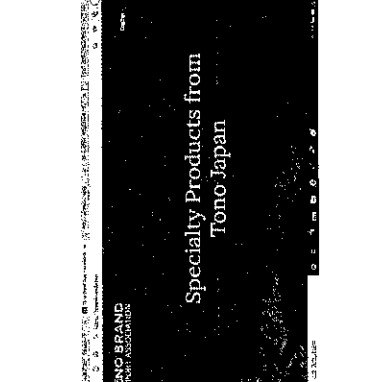
令和2年度 事業開始 2年目 岩手県遠野市 遠野ブランド海外輸出協議会

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

具体的実施状況	実績	写真	事業評価	今後の取り組み
①愛知県豊橋市「ホテルアークリッシュ」の地産地消の取り組みについて調査	ホテルが田原市、豊橋市の農業生産者と連携し、ホテルメニューに地場食材をふんだんに取り入れた。農業現場が消費する人たちによって変化する姿があった。			エディブルフラワーという食べ物の栽培によってホテルに女性客を呼び込む仕組みを協議会ではスイーツに「遠野花街道」という視点で取り組んでいきたい。
②福岡市、山口県下関市 DEAN & DELUCAとイギリス旧領事館、アフタヌーンティセイトを調査	中国地方、九州地方の地場商品の開発とイギリスのテイタイムの商品と客のものなし方を学んだ。			ミルクの高付加価値商品「クロックドクリーム」の開発とそれと同時に食べるスコーンの開発を進めていきたい。これからの輸出する力は商品力にある。
③福岡県糸島市ミルクプラザの活動調査	コロナ禍で牛乳の多角的な商品のつくりに関して調査。地場のイチゴとのコラボレーションで商品開発を進めていた。		A	牛乳の商品開発は技術力と地域の原料を使いこなすことにある。チーズの種類を増やすためトウガラシハーブを利用したものは三陸の塩と海藻を使ったものを開発していきたい。
④群馬県上毛高原視察	山の恵み、クルミやエゴマをドレッシングにしたり、花豆を甘煮にしたり、加工技術の種類の多さには驚いた。協議会の加工技術学習に参考になった。			香辛野菜の活かし方、タマネギの漬物、しよらがとトウガラシの融合、伝統野菜栽培から加工による価値づくりを積極的に進めていく。
⑤宮城県仙台市杜の市場の取り組みについて調査	東日本大震災後の復興の力強さを視察した。漁業者、そして加工業者、一体となって展示販売しその場で食べられる場もつくり、今後の産直のあり方について学んだ。			令和3年4月1日より「遠野風の丘」産直施設はリニューアルする。そこに遠野ブランド海外輸出協議会のコーナーができた。消費の最前線の意見を聞いて1次産業の活性化を担う。

先進地調査事業

具体的実施状況	実績	写真	事業評価	今後の取り組み
①ホウレンソウ年間通じての栽培実験	冬期間の栽培と収穫は良い成績を得た。2年目は6～8月に課題を残した。品種の間違いと虫の被害があった。		A	1ハウス800束×4回収穫＝3200束640kgを目標に技術の確立を目指す。初めて虫による被害。特に7月の対策をしっかりとやる。
②香辛野菜の安定栽培	ニンニク、タマネギ、トウガラシは成功した。特にタマネギ2回収穫は収穫増と産直販売では人気商品であった。		A	ニンニクは発酵ニンニクとして商品化する。タマネギも安定した栽培するために「育苗苗」をしっかりとやること。タマネギの美味しい漬物に仕上げること。トウガラシは首都圏に受けて供給する仕組みつくる。
③遠野伝統野菜の復活事業	遠野伝統野菜7種取り組んだ。復活したことは大きな成果だった。特に暮評カブは台湾市場から大きな評価を得、南部赤カブは東京の冬の味覚にぴったりと評価を得ることができた。		A	「おいしい、無添加」を追求していききたい。商品化によって首都圏はもろろ海外にある日系、中国系スーパーに提案していききたい。季節ものではあるため「カブ」に関しては食材として品種を変えて栽培して、この遠野にありものを
チーズ	コロナ渦で海外研修が出来ないの で、国内の製造産地に 交換していきたいと決意した。国内産地も個性的な産地づくりに まったという感があつた。		A	ひとつは遠野におけるチーズ熟成の技術を高めること。それには作る回数を増やすこととチーズ製造する人を増やすことである。遠野市とこの点について協議し応援していただく体制をつくりに上げている
クロテッドクリーム	イギリスの原産地を視察する予定が出来なかつたため遠野ブランド構築のため独自の製造をはじめた。牛乳を生クリームに分離するセパレーターを設置した。		A	クロテッドクリームは生クリームとバターとの中間にあるものと認識している。3年目は商品のづくりにセパレーターを数多く稼働しつくりこりなしていきたい。
野菜の高度加工開発プロジェクト				
乳製品商品開発プロジェクト				
地域資源栽培加工事業				

具体的実施状況	実績	写真	事業評価	今後の取り組み
遠野牛産地ブランド育成プロジェクト 遠野牛商品加工技術開発 ①しぐれ煮 ②ローストビーフ ③牛舌ステーキ ④牛テールのスーパ ⑤粗びきハンバーグ	コロナ渦で講師を招いて技術研修するのは中止した。代わりに遠野の牛肉を使用した商品開発は加速した。現在、試食いただいているが高い評価を得ている。写真：ローストビーフ、牛タンステーキ		A	コロナ渦で外食および外に向かつて発信する状況にない。この時を内食向け、惣菜としての価値を見出した商品の向かってデザインしていきたい。香辛野菜とコラボレーションして焼肉のタレはできた。試食会を徐々にではあるがはじめていきたい。
知的財産権の確立	中国市場を意識して上海日本事務所とブランド名の知的財産保護の調査、申請をはじめた。	No image	A	2021年～2022年にかけて中国市場の動きがあると予測し、商標権の確立と中国商社との契約書の作成をすすめる。
地域資源栽培加工事業で作った4つの開発プロジェクトから生み出された商品として「遠野ブランド」として位置づけ個別に少人数で商談を行った。 動画とホームページの制作(写真はホームページ)	コロナ渦の中、2020年11月よりアメリカ、台湾へ輸出が再開された。現在シンガポールから新たな取引先と商談中である。国内においても新しい動きがある。		A	2021年4月遠野の産直施設「遠野風の丘」内に国内発信として協議会の売場を作り、PR活動を常時展開する。海外においては中国市場が魅力であり、今後積極的に商談していく。動画ホームページは最新の動向をアップデートしていく。

○今後の事業構想
 具体的にどのような取組を行うか記載する。 今後の取り組みは上記記載

地域資源栽培加工事業